

番号	12	平成30年度公共事業再評価調書		担当課名 砂防課		
事業名	通常砂防事業		事業主体	静岡県		
箇所名	ダイニチガワ 大日川		関係市町村	賀茂郡南伊豆町		
事業採択年度	平成 26 年度		計画期間	平成26年度 ~ 平成32年度		
用地着手年度	平成 27 年度		工事着手年度	平成 29 年度		
再評価理由※	事業採択(H26)後5年間が経過した時点で継続中					
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	~H28年度	H29年度	H30年度見込	計
	350		31	130	66	227
事業概要	<p>(1)事業目的 静岡県賀茂郡南伊豆町に位置する青野川水系大日川は、保全対象として人家7戸、一般県道南伊豆松崎線及び町道前田線がある土石流危険渓流であり、土石流による甚大な被害が懸念されるため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。</p> <p>(2)事業内容 砂防堰堤工：高さ11.5m、長さ85.0m、立積4,098m<sup>3</sup></p>					
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 近年、全国で、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生している。 南伊豆町においても、事業着手した平成26年度からこれまでに、4件の土砂災害が発生している。 被害想定区域を含む地区住民15世帯を対象にアンケートを実施したところ、平成29年4月には近隣の下田市において、土石流災害が発生したこともあり、回答者のうち10世帯中9世帯が「事業を継続する必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望は強い。</p> <p>(2)事業の投資効果 費用対効果 B/C : 1.46 総便益 : 493百万円 (直接被害 : 家屋、道路 間接被害 : 人的被害、応急対策費) 総費用 : 337百万円 (建設費、維持管理費)</p> <p>(3)事業の進捗状況 事業費進捗率 (H30末) : 64.9% (227百万円/350百万円) 事業量進捗率 (H30末) : 用地取得 100.0% (買収済) 工事用道路工 100.0% (338m/338m) 砂防堰堤工 83.4% (9.6m/11.5m)</p>					
事業の必要性等	評価	継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない				
【視点2】	<p>工事用道路工について、当初計画は町道からの接続を計画していたが、生活道路である町道利用への影響を考慮し、県道からの接続へ計画を見直した結果、道路工延長及び、事業費の増加が生じた。 現在では工事用道路が全て完成し、早期の工事完了に向け砂防堰堤工を施工中。地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、平成32年度完了を目指す。</p>					
今後の事業の進捗の見込み	評価	継続が妥当 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない				
【視点3】	<p>新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 コスト削減対策としては、残存型枠を採用可能な堰堤本体及び前庭保護工等の構造物に対して採用し、コスト削減と工期短縮を図っている。</p>					
対応方針(案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を( <u>継続</u> ) ・ 見直し後継続 ・ 中止 ) する。</p> <p>(2)理由 事業は順調に推移しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の推進を図る。</p>					

## 費用対効果算出説明書

### 「大日川」通常砂防事業

「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」国道交通省 水管理・国土保全局 砂防部 H24.3

#### 総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	493百万円
総費用C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]	337百万円
B/C		1.46

#### 総便益

[土石流対策事業を実施しない場合の被害額]－[土石流対策事業を実施した場合の被害額]  
年平均被害軽減期待額を評価対象期間57年(整備期間7年+耐用期間50年)について累計する。  
ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(平成30年)に基づくデフレーター及び社会的割引率(年4.0%)で現在価値化したものとする。

$$\begin{aligned} \text{便益計} &= \sum \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n \\ &= 493 \text{百万円} \end{aligned}$$

※ 年平均被害軽減期待額: 土石流発生の生起確率(1/10年超過確率降雨及び1/50年超過確率降雨)それぞれに対応した被害軽減額の平均値の合計。

※ 人的被害額/1人あたりは、1/50年超過確率降雨のみで発生し、市町の人口比率を反映した各年齢別人的被害額の平均額である。その平均額を被害想定区域内の死者数を想定して乗じて人的被害額を算定する。

※ 整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

#### 総費用

[建設費]－[評価期間内に必要な維持管理費]  
各年次の建設費と維持管理費(建設費の1%)を評価対象期間57年(整備期間7年+耐用期間50年)について累計する。  
ただし、各年次の建設費及び維持管理費は算出基準年(平成30年)に基づくデフレーター及び社会的割引率(年4.0%)で現在価値化したものとする。

$$\begin{aligned} \text{費用計} &= \sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\ &= 303.1 \text{万円} + 33.4 \text{百万円} \\ &= 337 \text{百万円} \end{aligned}$$

# 位置图



# 事業概要

溪流名：大日川(賀茂郡南伊豆町市之瀬地先)

事業費：350百万円

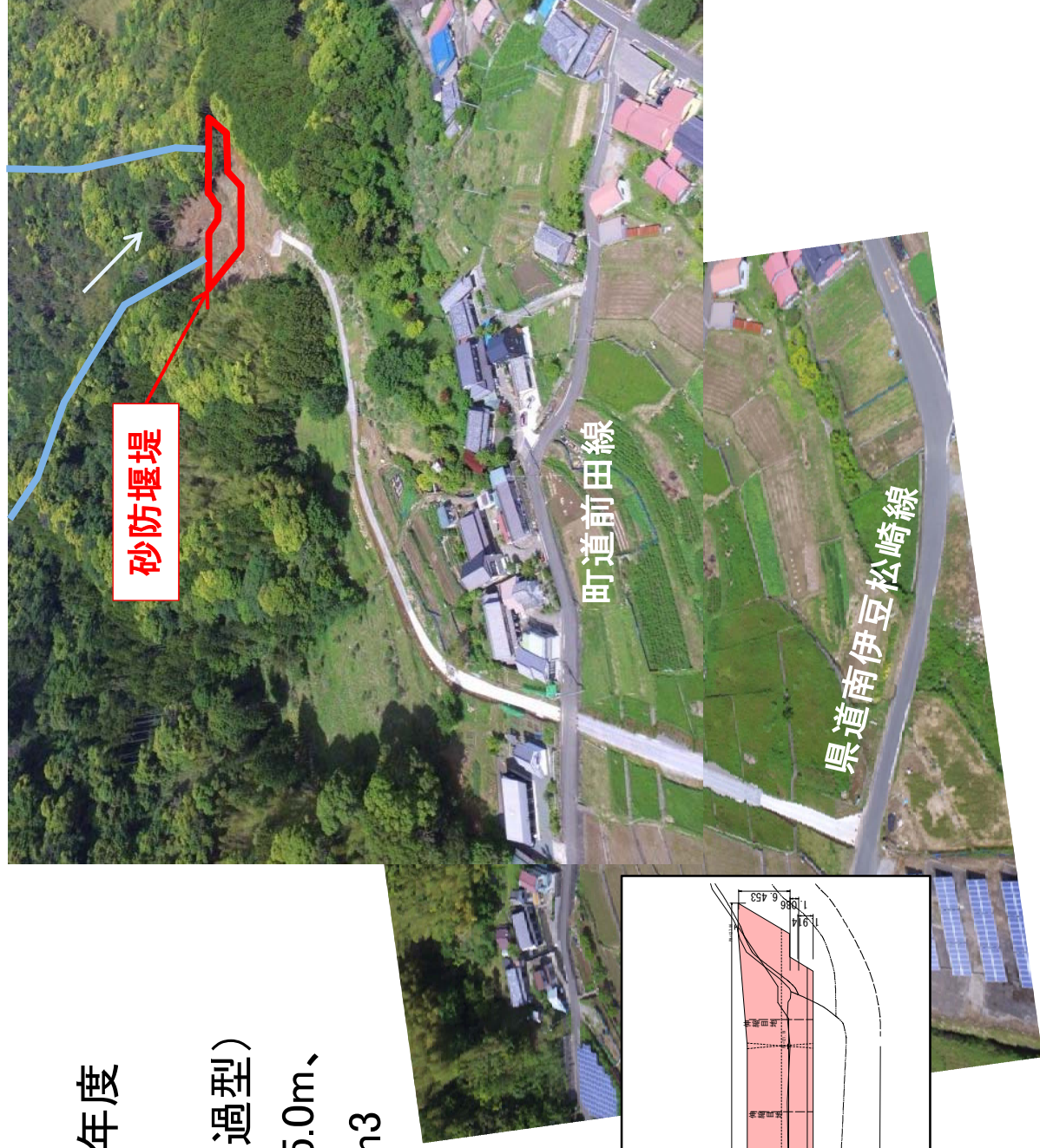
事業期間：平成26～32年度

施設概要：

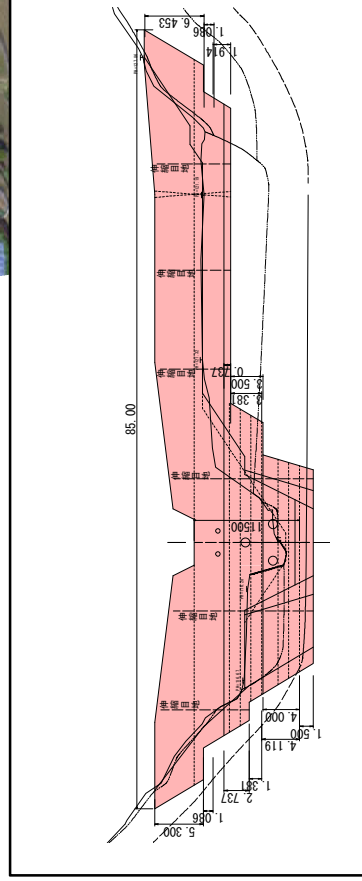
砂防堰堤工 1基(不透過型)

高さ11.5m、堤長85.0m、

計画捕捉量2,530m<sup>3</sup>



堰堤正面図(不透過型)

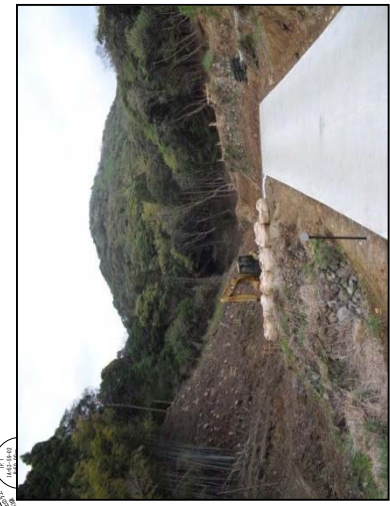
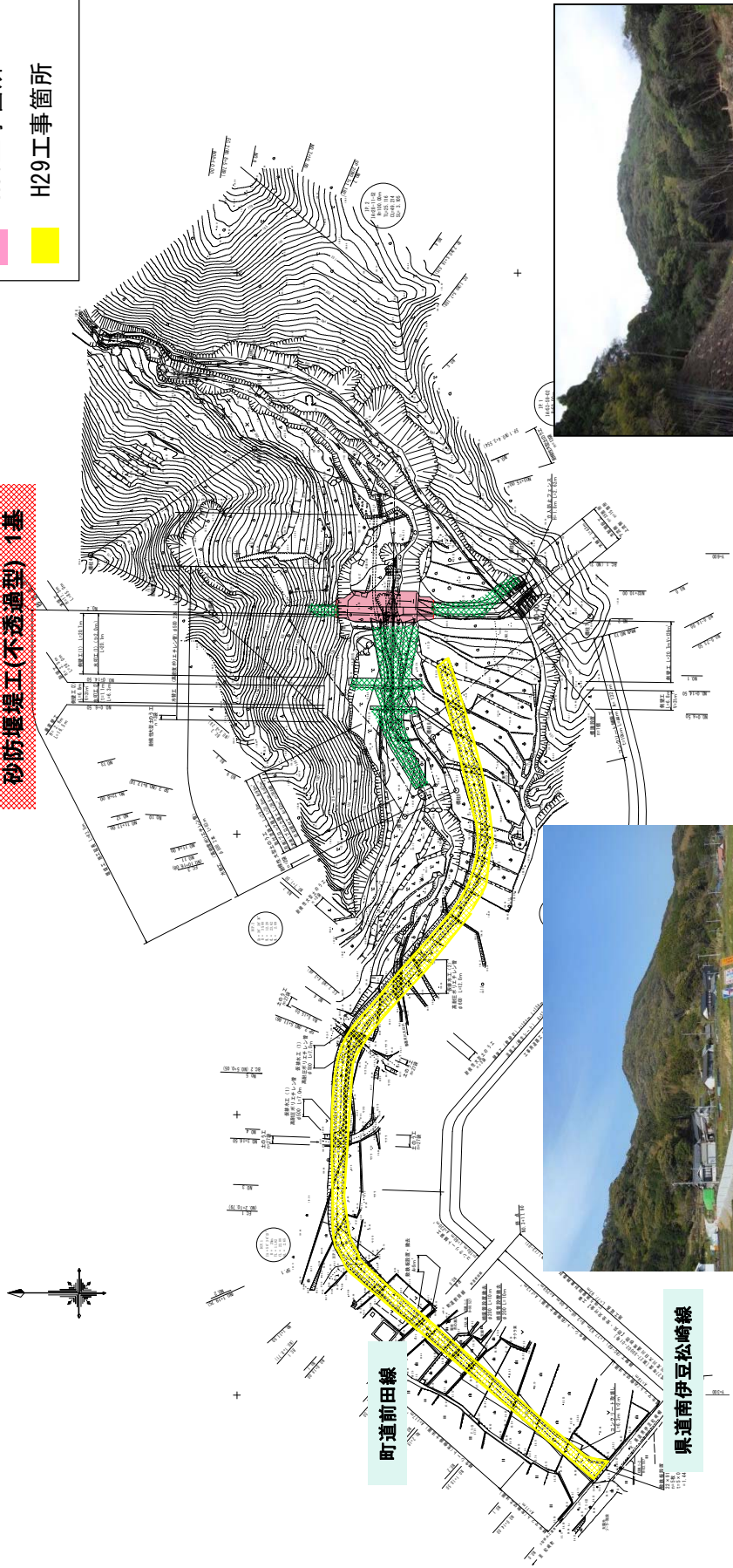


平面図

凡例

- H31以降工事箇所
- H30工事箇所
- H29工事箇所

砂防堰堤工(不透過型) (基)



現在の施工状況



工事用道路の施工状況